安い掛金で生活の安定と福利厚生の向上を

大館市勤労者共済制度がスタート

小規模事業所に働く方々を対象にした「大館市勤労者共済会」が設立されました。この制度は、県内では秋田市と横手市に次いで実施されるもので、職場ぐるみで加入するよう呼びかけています。

従業員五十人以下の小規模事業所の職場に働く皆さんを対象に「大館市勤労者共済会」が設立されました。

この共済会は、会費と市からの補助金で運営されるもので、企業独自の金融制度や共済制度のない事業所を対象に、そこで働く従業員や事業主の生活安定と福祉の向上を目的として実施するものです。

同制度の内容は、安い掛金で有利な共済金が受けられる「共済給付制度」と、安い料金で利用できる宿泊施設や、会員の親睦・交流を行う「福利厚生事業」からなっています。

〈加入できる方〉

市内の事業所に勤務する従業員と事業主の方のほか、市内居住者で市外の事業所に勤務する方やパートタイマー、試用期間中の方でも事業主の認定があれば加入できます。

〈加入の方法〉

職場ぐるみの加入を原則とし入会金一人当り千円、月会費五百円を事務局へ提出してください。

なお、従業員の福利厚生対策として、入会金および月会費の半額程度を事業主が負担してくださるようおすすめします。従業員のために支払う掛金は、税法上、損金として扱われます。

〈共済金の受付〉

会員や家族の死亡・住宅災害・傷病による休業などに見舞金が支給されるほか、結婚・出生などの祝金、退職時の餞別などの給付があります。（詳しくは左の表をご覧ください）

〈福利厚生事業〉

・宿泊施設

矢立ハイツ、峰の家、清風荘

四十八滝について、会員千円、家族五百円を助成します。

・結婚式場

労働会館、商工会館、農協会館の会場使用料を割引します。

・レクリエーション

会員の親睦を深め、勤労意欲を高めるために、新春パーティー、ソフトボール大会、運動会、バス旅行、室内レクリエーションなどの事業を行います。

〈申込み・問合せ先〉

大館市勤労者共済会事務局（市商工観光課商工係）☎49～3111内線283

共済金の給付一覧

内訳		給付金
死亡 会員	病死（含自殺）	100千円
	事故死	120
死亡 配偶者（内縁を含む）		50
死亡 子（生計を一にするもの）		10
死亡 親（実・義・養・継父母）		5
住宅災害 火災による損害・消防破壊	全焼・全壊	200
	半焼・半壊	100
	一部・消防冠水	50
住宅災害 地震による火災・消防破壊	全焼・全壊	50
	半焼・半壊	25
	一部・消防冠水	5
住宅災害 火災以外の災害	全壊・流失	100
	半壊	50
	床上浸水	10
住宅災害 交通災害などによる一部損壊		5
傷病 休業	（14日以上30日未満）	10
傷病 〃	（30日以上90日未満）	20
傷病 〃	（90日以上）	50
祝金 結婚	（内縁は含まず）	20
祝金 出生	（内縁・早産を含む）	10
祝金 子の小学校入学	（生計を一にする実・義・養・継子）	10
退職餞別 普通	（会員期間３年以上）	10
退職餞別 定年	（会員期間３年以上で男55歳、女50歳）	50
廃疾		50

▲出稼労働者の東京集会　が1月29日、東京近辺に就労している２５０人のうち４０人余りが参加して行われ、畠山市長から本市の近況報告などのあと、なごやかなムードで懇談しました。

フォトニュース

▼節分　の2月3日、各地で除厄招福の豆まきが行われました。神明幼稚園では、園児たちが元気に「鬼は～そと、福は～うち」と大きな声で豆まきをして健康を祈願しました。

今年に入ってから火災が異常に多発しています。今月十日までに

ゆとりの公営住宅３棟36戸

獅子ケ森公営住宅完成間近

昨年六月から釈迦内体育館東側に、市と県で工事を進めていた中高層公営住宅建設事業の第一期分がほぼ完成しました。

この公営住宅建設事業は、市と県が今年度から三カ年にわたり鉄筋コンクリート造り三階建ての住宅を十棟、百八戸建設しているもので、従来の「狭い公営住宅」のイメージを一掃した広々としたスペースになっています。また、住宅の周囲は公園化して入居者や付近の方々の憩いの場として利用できるようになります。

市が1棟12戸

県が2棟24戸

市営住宅は、工事費一億六千九十万円で一棟十二戸（３ＬＤＫ）を建設。住宅の間取りは、いままでの住宅よりも明るくゆったりとしており、床面積が六五・二八五平方㍍あり、六畳二室、四・五畳一室、ＬＤＫ（約九畳）サンルーム（三・八平方㍍）、バルコニー、風呂（浴槽設備付）、水洗トイレなど。地下は物置と自転車置場そして屋外には駐車場があります。

また、県営住宅は二棟で、２ＬＤＫが八戸と３ＬＤＫが16戸建設されました。３ＬＤＫ住宅の間取りは、床面積が七〇・三一平方㍍で、六畳三室、ＬＤＫ（約十畳）サンルーム、バルコニー、風呂、水洗トイレなどとなっています。

なお市営、県営住宅の入居者の募集については、後日広報などでお知らせします。

▶中央奥が市営住宅で、左右が県営住宅

各種相談日

ところ・市役所会議室
じかん・午前９時～午後４時

交通事故	3月8・15・22日
法律	3月18日
社会保険	3月21日
家庭教育	3月7・14・21・28日
国税	3月25日

ご利用ください 各種資金の貸付制度

◆公害防止設備資金の利子補給制度

中小事業者が銀行から融資を受けた公害防止設備資金に対して市が利子補給を行い、公害防止対策事業の促進を図るとともに、市民の生活環境を守ることを目的とした制度です。

・設備資金　公害を防止するため施設の設置または改善に要する資金および測定機器の購入に要する資金

・対象　資本金および出資総額が五千万円以下の法人、従業員数が三百人（鉱業は一千人）以下の法人または個人　・利子補給額　支払い利子額の二分の一の額　・利子補給期間　契約日から起算して六年以内

・問合せ先　環境保護課☎49～3111内線247

No. 63

実績日本一を祝す

アメッコ市を盛会裡に終えることができました。市民及び開催にご協力いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、今月二日のことですが全国農協青年部大会の活動実績発表会で、市農協青年部（発表者山内俊和氏）が見事最優秀賞となり、農林大臣賞を受けました。心から拍手とお祝いを申し上げるとともに、減反政策と二年続きの冷害で静まり切っていた農業者に大きな誇りと自信を与えてくれたことに対して、改めて農協および青年部の努力と活動に敬意を表します。

米を土台に、畜産や果樹、野菜やキノコ等の部門との組合せを青年の創造力と行動力で成功させた実績は、多くの農業者にこれからの農業の姿を事実で証明してくれたものであると思います。また、青年部としての組織活動、つまり一人の力では限界があるが、みんなが知恵を出し合い、共に助け合い、その結果一人一人が忠実に行動すれば必ず報いられるということのモデルであると存じます。

食糧は「買い手市場」ではなく「売り手市場」に変わりました。良いモノ、売れるモノ、安いモノをつくらなければならなくなりました。過去のように、つくりさえすれば金になる時とは違います。それだけに一人だけでは限界があるのです。

ましてや農産物輸入自由化の動きの中、生産者と消費者の胸の内は理解不足も手伝って同一とは言えない状況であり、その克服は、私たちと農業者が連帯と責任で理解と協力を求めて行かなければなりません。

畠山健治郎